

## 株式会社ガット様から ご寄附をいただきました

町内で精密機器部品の製造を手がける株式会社ガット様より、町に対し300万円のご寄附をいただきました。

同社から教育支援としてのご寄附は、令和3年から始まり、今 年で5年目となります。

10月20日には、役場仁多庁舎で贈呈式が行われ、吉見淳一代表取締役から糸原町長へ日録が贈られました。

この度いただきましたご寄附は、第2次奥出雲町総合計画に掲げている子育てが幸せにできるまち」の実現に向け、教育施策の充実に活用してまいります。



▲吉見代表取締役(右)

## 奥出雲町商工会様から 横田小学校に ご寄附をいただきました

11月13日、奥出雲町商工会様より横田小学校へご寄附を頂きました。

商工会様は、奥出雲町の商工業の振興や社会福祉の向上を目指しておられ、経営改善普及事業、創業・経営革新の支援、地域産業の活性化などに取り組まれています。

当団は、植田良二会長をはじめ、14名の商工会加入代表者が仁多庁舎を訪問され、糸原町長と千原横田小学校長へ日録が贈呈されました。

植田会長は「奥出雲町の将来を担う子どもたちが元気に活躍することに、少しでも力になつていいたい」と話されました。また、「いただきました寄附金は、横田小学校の教育環境の充実に活用してまいります。



▲奥出雲町商工会の皆様

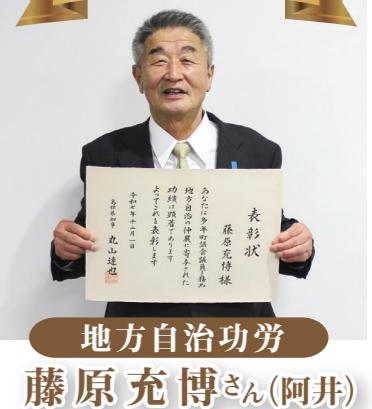


## 奥出雲町水道事業運営委員会から答申

奥出雲町水道事業運営委員会は今年8月に設置され、町長から諮問された水道料金の見直しに対しても、4回にわたりご審議いただきました。

11月14日には、「水道は町民生活に欠かせないライフラインとしての役割を担つており、後世に問題を先送りすることなく、町民全員で維持していくかなければならない」とから、今後も持続可能な運営を図るため、基本料金20%、従量料金10%の値上げを実施し、料金の改定後5年程度を目途に検証を行い、適正な料金水準の維持に努められたい」との答申をいただきました。

また、「使用水量の少ない高齢者、単身世帯などを考慮し、基本水量の引き下げや基本料金の見直しの検討」、「経営状況や大規模事業の進捗について町民への積極的な情報公開や、国・県に対して補助率の拡充、水道水の安全確保に向けた積極的な要望活動の実施をお願いする」などの意見が付されました。



地方自治功労  
藤原充博さん(阿井)

平成17年から通算5期20年にわたり、奥出雲町議会議員を務められた藤原充博さん。藤原さんは、議会活性化特別委員会委員長などを歴任され、令和元年からは奥出雲町議会議長に就任され、地方自治の発展に尽力されたことが評価されました。

## 天皇陛下へ 仁多米コシヒカリを献納

宮中で行われる「新嘗祭」で用いられる新穀の献納が10月22日に行われました。新嘗祭は、天皇陛下が新穀を神々に捧げるとともに、自らも口にされて、五穀豊穰と国家国民の安寧をお祈りされる宮中祭祀で、毎年11月23日に執り行われています。

献穀者である野原幸雄さん・栄子さんご夫婦(大馬木)と糸原町長、島根県農林水産部山本部長が皇居にて、天皇陛下へ仁多米コシヒカリを献納し、御会釈の際には、陛下より今年の作柄などについてお尋ねがありました。

改めて、大役を務めあげられた奉耕者の野原さんご夫妻及びご協力いただいた関係者皆様に對し、心から敬意を表するとともに、感謝申しあげます。

## 新嘗祭献穀者への 感謝状贈呈式



▲(左から)奥出雲仁多米株式会社 藤井健史 本部長、丸山達也 島根県知事、野原幸雄さん、野原栄子さん、糸原町長、旭自治会長 唐桶高壽さん

## 第18回雲南地区交通安全大会開催 「雲南地区に無事故の灯がともる」

11月26日、第18回雲南地区交通安全大会が奥出雲町立町民体育館で開催され、奥出雲町、雲南省、飯南町の交通安全協会関係者など約200人が出席しました。

オープニングは島根県警察音楽隊が、迫力のある演奏と交通安全のメッセージで会場を盛り上げました。雲南省交通安全管理協会の高橋雅彦会長は、「交通事故が1件でも減少するよう、地域住民が一体となり、安全で安心できる雲南地域の実現に取り組んで参りました」と挨拶されました。

その後、各種表彰と感謝状の授与が行われ、奥出雲町からは、中国四国管区警察局長・中国五県交通安全協会会長連名表彰の功労者に唐桶高壽さん(馬木)、優良運転者に石原信夫さん(亀嵩)、全日本交通安全協会会長表彰(交通安全賞章・緑十字銅章)に内田雅人さん(三成)が受賞され、会場からは交通安全に貢献された皆様へ大きな拍手が送られました。

また、雲南地区交通安全協会の川角邦生副会長が大

会宣言を行い、満場一致の拍手によって採択されました。大会を通じて、今後も事故のない安心安全な地域づくりを進めていくことを誓いました。

野原幸雄さん、

栄子さんご夫妻のほか、献穀田のある地元旭自治会長唐桶高壽さん、新嘗祭献穀実行委員長の奥出雲仁多米株式会社藤井本部長が出席しました。

丸山知事より野原さんに、酷暑・渴水の厳しい環境の中、島根県を代表して重責を果たされたことに対し、労いの言葉があり、感謝状が贈呈されました。

